

fusion_place 5.2 リリースのご案内（一般向け）

2017年3月23日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「5.2」をリリース致しましたことのお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向け新機能版です。fusion_place cloud、premium が対象となります。fusion_place standard については提供されません。
フルバージョン番号は、5.2.2-S105 です。

2. ご提供方法

弊社サポート窓口（support@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ（<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>）からインストールをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。こちら、弊社サポート窓口にご相談下さい。

3. 主な機能改善点（5.1.x 対比）

（1）スクリプト機能の導入

フォームによる計算処理を連続実行、あるいは、メンバーリストに従って繰り返し実行することを可能にする「スクリプト」機能を導入しました。スクリプト実行時にパラメータを指定することも可能です。外貨換算・配賦などの複雑な要件に対応する複数のフォームの処理を自動実行することは、従来でもリクエストを用いれば可能でしたが、スクリプトを用いればさらに簡単に実現できます。ユーザマニュアルの[fusion_place のしくみ>11.スクリプト]に、サンプルと説明がございますのでご参照下さい。#220

(2) 多言語対応の拡張

5.1 では、ユーザが入力する名称などの文字列について、従来の日本語・英語に加えて、Java 環境上利用可能な任意の言語（ロケール）で文字列を登録し、使用できるようにしましたが、当バージョンではさらに、Excel-Link でも日英以外の文字列を表示できるようにしました。#627

(3) フォーム画面の利便性向上

フォーム画面に関する利便性向上の一環として以下の改善を施しました。

- ① フォーム画面で列幅を調整した時に、その列幅が保存され、以降の表示に際しても適用されるようにしました。保存された列幅をリセットすることも出来ませ（メニューから「アクション＞列幅をリセット…」を選択）。#610
- ② フォーム画面において、同一の列定義に基づく複数列（例えば、月別欄の各列）を対象に、まとめて列幅変更できるようにしました。#644
- ③ フォーム画面のタイトル欄の上に見出しを表示できるようにしました。簡易版・フル機能版いずれでも、以下の項目を OFF としておけば、表示されます。
 - ・簡易版…帳票の体裁＞行タイトル欄の見出しを表示しない
 - ・フル機能版…帳票書式＞帳票の体裁＞行タイトル欄の見出しを表示しない
 なお、旧バージョンで作成されたフォームについては、互換性維持のため上記項目は ON になりますので必要に応じてご変更ください。当バージョン以降で作成するフォームでは、上記項目の初期値は OFF になります。#608
- ④ フォーム画面でバリデーションを実行した時にハイライトされるセル数の上限（20）を撤廃しました。メッセージ数の上限は従来通り 20 です。#262
- ⑤ フォームのバリデーション仕様において、バリデーションルールごとに指定できる「保存時に適用」という項目を設けました。これを指定した場合、そのバリデーションルールは、データ保存時にもチェックされます。判定結果が NG の場合、バリデーションレベルが「誤り」ならば、データを保存できません。「注意」レベルであれば、警告表示されますがデータ保存可能です。#634
- ⑥ ブラウザでの元帳版選択欄の初期値を、公開版から共有作業版に変更しました。#661

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された change-log.5.0.5-S101.txt をご覧ください。同ファイルはインストーラの zip ファイルを展開した際に現れる change-log フォルダにあります。

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

① Excel-Link アドインファイルの差し替え

当バージョンでは、Excel-Link アドインファイルが更新されています。当バージョンをご利用頂くには、Excel-Link を利用している各クライアント PC で、アドインファイルを差し替える必要がございます。

コントリビュータの「Excel 起動」ボタンを押下する以外の方法で Excel-Link をご利用のユーザは、アドインファイルを差し替えて下さい。

マネージャ／コントリビュータ／ブラウザいずれかを起動し、メニューから[オプション]>[Excel-Link 組み込み]を実行すると、アドインファイルが差し替えられます。その際は、Excel を終了しておいて下さい（Excel が起動しているとその終了を促すメッセージが表示されます）。

コントリビュータのみご利用のクライアント PC では、上述の手続きをあえて実行頂く必要はございません（Excel 起動ボタン押下時に自動的にアドインファイルが差し替えられます）。

なお、Excel-Link のバージョン番号は「5.2.2」となります。

② リクエストの新機能の利用(fusion_place premium, cloud のみ)

リクエストについて、今回、新機能による変更はございません。旧バージョンのリクエストを引き続きお使いいただけます。当バージョンのリクエストプログラムファイル (fusion_place-requester-5.2.2-S105.jar) は、インストーラの zip ファイルに同梱されております。cloud をご利用のお客様は、別途お伝えする URL からインストーラ zip ファイルをダウンロードして、上記ファイルを取得頂けます。

5. インストール方法

（クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。）

インストール手続き自体は旧バージョン(5.1.x 以前) と変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。

詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル

(fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

- ① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- ② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上